

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（149）」

2. 日時：令和4年12月15日（木）16時00分～17時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、鈴木安全審査専門職、馬場係員、松末技術参与、廣井技術研究調査官、佐藤技術研究調査官

北海道電力株式会社：藪執行役員 他11名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・令和4年11月17日ヒアリング資料（10/25提出資料）からの誤記修正一覧

<<本年12月5日に受取済み>>

・泊発電所 火山影響評価のうち立地評価について

・泊発電所 火山影響評価のうち立地評価について（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁の谷です。
0:00:05	ヒアリングを始めたいと思います。
0:00:08	今日のヒアリングの案件としては泊発電所の火山影響評価のうち立地評価について、
0:00:14	ということで12月5日の日に資料を受け取ってしまして、本編と補足資料の方を受け取っています。
0:00:22	それではですね内容特に前回の
0:00:26	ヒアリングからの変ったところを中心にですね説明いただけたらと思います北海道電力からよろしくお願いします。
0:00:39	はい。北海道電力の津村です。本日のヒアリングよろしくお願いします。泊発電所火山影響評価のうち、立地評価についてということで、
0:00:49	11月17日のヒアリングで大体
0:00:54	修正しましたのでご説明をいたします。
0:00:57	説明については、修正事項追加事項を中心に、約40分程度を考えてございますのでよろしくお願いします。それでは長山からさせていただきます。
0:01:09	はい。
0:01:10	北海道電力の仲山です。資料説明させていただきます。
0:01:14	今回の説明は、前回11月ヒアリング時のコメントを踏まえまして、変更した内容を中心に説明をさせていただきます。
0:01:22	8ページをお願いします。
0:01:27	8ページから15ページには、令和3年10月審査会合からの主な変更内容を表に整理しております。
0:01:35	9ページをお願いします。
0:01:37	10ページには、イの意匠文献調査に関する変更内容を示しております。
0:01:42	令和元年10月審査会合以降の変更内容に、前回は、網羅的な文献調査の結果、新たに49の文献を抽出したことのみ記載してございましたが、
0:01:53	網羅的な文献調査の結果として、立地評価の説明性向上を図った旨を、今回ここに追記してございます。
0:02:00	10ページをお願いします。
0:02:05	10ページには、2-2章、原子力発電所に影響をおよぼし得る火山の抽出に関する変更内容を示しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:12	10 ページの表、最下段の記載を今回追加してございます。
0:02:16	これまで敷地から半径 160 キロメートル以内の範囲にある第 4 紀火山について、原子力発電所に影響をおよぼし得る火山として抽出されるかどうかについての、
0:02:27	本編資料には、結果のみ記載し、総体は補足説明資料に記載しておりました。
0:02:32	ただし、ホームページ上においては、原子力発電所に影響をおよぼし得る火山として抽出されるかどうかの判断根拠が明確ではなかったため、
0:02:41	抽出結果だけでなく、各火山活動事業を図示するなどした表をホームページ上に示すことにいたしました。
0:02:49	12 ページをお願いします。
0:02:54	12 ページ、13 ページには、2 の 3 章、運用期間中の火山の活動可能性評価のうち、火山噴出物の分布に関する変更内容を示しております。
0:03:04	12 ページ、13 ページの記載の内容を詳述している 53 ページから 85 ページの内容について、説明性向上のため、来年度の追加や、
0:03:14	議題の充実化等図ってございます。
0:03:17	このため、この 12 ページ、13 ページの記載につきましても、あわせて適正化を行ってございます。
0:03:23	大矢カルデラだけではなく、支笏カルデラにつきましても、火砕流堆積物の河口からの距離と層厚の関係について文献レビューを行っておりますので、
0:03:33	その旨を 13 ページの変更内容に追記しております。
0:03:38	14 ページをお願いします。
0:03:42	14 ページには、2 の 3 章のうち、古代文化の可能性評価に関する変更内容を示しております。
0:03:49	14 ページの表、上段ですが、巨大噴火の可能性評価方法について、画像利益並行構造、重力異常も加えて、
0:03:58	総合評価することとした旨、記載してございますが、この評価方法の変更は、網羅的な文献調査を踏まえているものである旨を今回追記してございます。
0:04:07	は、14 ページ、表の下段になりますが、
0:04:10	お疲れでウツダ登別火山部大矢カルデラの検討において、当社で收集整理している火山性地震地殻変動のデータは、その整理期間、
0:04:21	2021 年 9 月まで拡張した旨を今回追記しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:26	なお、ニセコ雷電火山群、羊蹄山の火山性地震、地殻変動のデータにつきましても、同様に整理期間を拡張しており、その旨を15ページ表の下段に追加してございます。
0:04:38	15ページ。
0:04:40	こちら2の4章設計対応不可能な火山事象に関する個別評価の変更内容を示しておりますが、
0:04:46	先ほど説明した支笏カルデラの検討と同様に、
0:04:49	ニセコ雷電火山群につきましても、
0:04:52	火砕流堆積物の方からの距離と層厚の関係を整理しておりますので、その旨を、このように、こちらに記載してございます。
0:05:00	続きまして、55ページをお願いします。
0:05:09	55ページから、敷地及び敷地近傍の火山噴出物の分布に関する検討について示してございます。
0:05:17	前回ヒアリングの資料におきましては、本検討について、まず導入の記載。
0:05:22	この後の検討の詳細、
0:05:25	敷地及び敷地近傍の市立総合柱状図といった構成としてございました。
0:05:30	しかし今回、この55ページの導入記載の充実化や、56ページ、57ページに、円筒の内容をわかりやすく整理した円筒の来年度を追加するなど、構成を変更してございます。
0:05:44	55ページ、説明させていただきます。
0:05:47	産総研2020によりますと、
0:05:50	原子力発電所に影響をおよぼし得る火山として抽出した13火山のうち、火山噴出物の分布が敷地に隣接する方の53ページの図に示します通り、
0:06:00	大屋カルデラ、ニセコ雷電火山群の2型に限定されます。
0:06:05	1及び敷地近傍における火山噴出物の分布状況につきましては、
0:06:10	一応、破断営業を適切に評価するために重要でありますことから、
0:06:15	文献案総計2020に示された状況に加えまして、
0:06:19	1及び敷地近傍四つの範囲に区分した上で、
0:06:23	当社地質調査結果に基づく分布状況の評価を実施いたします。
0:06:28	児童五、六十ページをお願いします。
0:06:33	60ページには、敷地及び敷地近傍の当社調査位置図を示してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:39	前回ヒアリング際にも説明させていただきましたが、1 近傍を (1) から (3) 、三つに分け、それニシキ敷地を加えた四つのエリアの検討を実施してございます。
0:06:51	まず敷地近傍 (1) として、文献において、この図、ピンクやオレンジの凡例で示しております洞爺カルデラ、ニセコ雷電火山群の火山噴出物の分布範囲地図、
0:07:02	要は情報入金や老古美周辺の火山噴出物について、当社調査結果に基づき確認をしてございます。
0:07:11	意味に近傍化としまして、この位置図、緑発電学部で示します、我々西部におきまして、
0:07:19	当社調査結果に基づき、火山噴出物の分布を評価してございます。
0:07:24	また、赤破線の波括弧で示しております敷地近傍の (3) 、1 を越えて北側に位置する積丹半島西岸におきまして、火山噴出物の分布を評価し、
0:07:35	その上で、敷地におけるパターン噴出物を強化いたします。
0:07:39	戻っていただいて 55 ページお願いします。
0:07:46	当社地質調査結果に基づく性噴出物の分布状況の評価に当たりましては、
0:07:52	課題がございます。その課題を解決するための検討をそれぞれ実施してございます。
0:07:57	この課題といいますのが、積丹半島西岸において、令和 3 年 10 月、審査会合以前に実施したボーリング柱状図の取り扱いが明確となっている、軽石火山灰質等の記載がある。
0:08:10	大江火砕流につきましては、この 2 付近、J A において、
0:08:14	堆積物を確認している文献はないものの、
0:08:17	推定に基づき、幌似付近を超えて岩内湾までの分布を示している文献が認められること。
0:08:22	一応高とは異なるが、次から洞爺カルデラまでの距離よりも遠方に到達しているとする文献が認められることなどから、大矢火砕流堆積物が削剥された可能性が考えられるということが挙げられます。
0:08:36	また、大矢火砕流堆積物が参加された可能性検討の結果も踏まえまして、
0:08:42	i n c h 増税に伴う改変により消失している F - 1 断層開削調査箇所の手書きに示された。
0:08:49	火山灰火山灰質シルト等の会社も変わってきて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:54	56 ページ、57 ページをお願いします。
0:08:59	56 ページ、57 ページには、各エリアごとの円筒の流れや、それぞれがどのように寄与しているかを体系的に示した本検討の概念図を示してご ざいます。
0:09:10	右から、敷地近傍が (1) の三つに周辺、
0:09:14	この左、敷地近傍 (1) より、
0:09:17	位置に近接する時期にも括弧に言わないでやっている。
0:09:22	ここの左が敷地。
0:09:23	さらに左一番左端ですが、こちらが敷地を越えて北側に位置する敷地近 傍確保たんす、積丹半島西岸を示してございます。
0:09:33	また、56 ページ上段、黄色囲みで示しているものが、令和 3 年 10 月審 査会合以前の検討になり、
0:09:40	56 ページ下段及び 57 ページの 2 囲みで示している。
0:09:45	のものが、令和 3 年 10 月審査会合以降の検討になります。
0:09:50	それから説明をさせていただきます。
0:09:52	まず右端、敷地近傍の (1) になりますが、当社調査の結果、幌似付近 軽石まじり火山灰の想定する大江火砕流堆積物、
0:10:03	老古美周辺にある石、すごいやが含まれるべきまじり火山灰の層層を呈 するニセコ火砕流堆積物を確認しており、
0:10:11	委員の左に行きまして、敷地近傍括弧になりますが、当社調査の結果、
0:10:17	止めないよと、M n 案欄 9 輸送中に大矢火山灰の降灰層準を含む堆積 物、
0:10:25	火山灰さしてシートを確認しており、
0:10:28	続きまして、敷地を飛ばしまして一番左端、敷地近傍の (3) の検討に なりますが、
0:10:34	当社調査の結果、MM R 段丘の輸送中に大矢火山灰、あと 4 火山灰の
0:10:41	降灰層準を含む堆積物を確認してございます。
0:10:44	一方で敷地につきましては、12 号炉調査時の F - 1 断層開削調査箇所 において、火山灰等を確認しておりますが、
0:10:52	委員に実施した敷地内断層の活動性評価に関する地質調査におきまして は、
0:10:58	大井段丘等の被覆層中に、P F Mは大矢火山灰対象火山灰に対比される 火山ガラスが混在する堆積物を確認しているものの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:07	V1 断層開削調査箇所において確認された火山灰等と同様な堆積物は認められません。
0:11:15	この点に対してその下になりますが、柱状図等において、火山噴出物の可能性を示唆する記載のうち、取り扱いが不明確となっている記載を示してございます。
0:11:27	1 近傍の (1) 、 (2) 、右側になりますが、こちらについては、取り扱いが不明確になっている。
0:11:42	タニですけど、
0:11:46	規制庁タニですけど、
0:11:51	文献と英語を前ください。
0:11:55	今ね音声途切れてしまって、あ、はい。
0:12:02	どこまで聞いたかという、敷地近傍内敷地近傍に、
0:12:07	のところには取り扱いが不明確な記載がないように、そこまで聞いたんですけどそこからちょっと止まってしまって、
0:12:16	どうでしょうか 1 回画像を切りましょうか、何かちょこちょこ、
0:12:20	音声がブツブツなったりするときもあったので、画像 1 回来、
0:12:26	音声だけでしばらくやってみましょう。
0:12:30	お願いします。どうぞ。ビデオを切ります。
0:12:37	はい。
0:12:38	じゃあこれ聞こえますでしょうか。はい。聞こえてますよろしく願いします。はい。ちょっと続けさせていただきます。敷地近傍の位置については取り扱いが明確となっている記載がありませんので、
0:12:51	この令和 3 年 10 月審査会合以降、ただふう実物の分布状況を検討として、矢印下トピック囲みの方に入っていきますが、まず、敷地近傍の (1) では、
0:13:04	薄片観察による詳細観察を実施した上で検討した結果、文献と整合的な範囲、洞爺火砕流堆積物、ニセコ火砕流堆積物が認められます。
0:13:16	ババ。
0:13:16	1 近傍の (2) になりますが、この左にあります、取り合う内容等に認められる大屋の、
0:13:23	降灰層準を含む堆積物を演奏二次堆積物に再区分した上で検討した結果、
0:13:29	梨野舞納露頭で、降下火砕物以来、矢野順三二次堆積物に区分した、弾代さしてシルトは認められますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:38	これ以外に火砕流堆積物を含め、主に火山砕屑物からなる堆積物は認められません。
0:13:44	また、未施工火砕流堆積物会議の改正対象物を除き、ある 1 または作りを含む堆積物も認められます。
0:13:53	一方で、一番左端の敷地近傍の (3) では、
0:13:57	取り扱いが不明確となっている記載として、M 案段丘の被覆層中にある石の記載や、降下火砕物を評価した堆積物以外にも、
0:14:07	MMR 段丘の服装中、または MMR 段丘堆積物中に火山灰質等の記載が認められます。
0:14:14	なお、多い段丘で高位段丘の途中にある石、火山灰質等の記載はございません。
0:14:22	敷地につきましては、取り扱いが明確なものとしたしまして、V1 断層開削調査箇所には火山灰等の記載がありますが、この地点につきましては、
0:14:33	1 同定に伴う変更により消失をしている状況になります。
0:14:37	そのため、一番左端敷地近傍 (3) につきましては、令和 3 年 10 月審査会合以降の検討として、再観察を実施し、
0:14:47	軽石明日火山灰質等の記載がなされているものについて、火山灰分析、薄片観察を実施し、主に火山砕屑物から成るものであるかどうかを確認してございます。
0:14:58	また火山灰分析、薄片観察を実施していない箇所については、放送総量対比をもとに評価をいたします。
0:15:06	このそうそう層序退避に当たりましては、これまで降下火砕物を評価していた堆積物について、火山ガラスの流出等に着目し、純層に堆積物等へ再区分を実施してます。
0:15:18	これらの結果としまして、積丹半島西岸におきましては、主に火山砕屑物からなる堆積物を、
0:15:26	大屋火山灰、阿蘇 4 火山灰の純層、もしくはこれらの二次堆積物としてのみ認められ、
0:15:32	大矢火砕流堆積物は認められません。
0:15:35	続きまして左から 2 列目、敷地につきましては、令和 3 年 10 月審査会合以降、検討の結果、
0:15:42	F A は大矢火山灰対象者だんだん対比される火山ガラスが混在する堆積物が認められました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:15:50	主に火山碎屑物からなる堆積物もしくは丸井氏、堀八尾君、堆積物は認められません。
0:15:57	出しながら、ブリッジ断層開削箇所SOA、先ほど申し上げた通り、
0:16:02	再編に伴い消失していることから、当該箇所の火山灰等と書かれているものの解釈につきましては、周囲の地質調査結果をもとに評価することといたします。こちらについては後程説明させていただきます。
0:16:14	57 ページ、お願いします。
0:16:18	ただ紛失物の分布状況の検討結果につきましては、今申し上げた結果となりますが、一方で、残る課題といたしまして、敷地近傍の(2)になりますが、
0:16:28	大屋火砕流について、
0:16:30	推定に基づき、岩内坂までの分包種別文献がある。
0:16:34	市から大矢カルデラまでの距離約 55 キロメートルよりも遠方に到達しているとする文献があると。
0:16:41	あと、堀株川沿いの定時集積が認められ、沖積層が認められ、見られる。
0:16:46	このため、大屋火砕流堆積物が堆積後、赤くされた可能性を否定できない調査箇所と、
0:16:52	堀株川沿いの低地に認められます。
0:16:56	一方で、言わないでや整備後、比較的公表後に位置する議案内容等につきましては、MMR 段丘堆積物表面ひょうご 122 メートルの増員、認められる。
0:17:07	大屋火山灰の純層及び二次堆積物には、
0:17:11	その上面、
0:17:12	または当該層中に洞爺火砕流の到達をしつつ、侵食面は認められません。
0:17:18	これらのことから、大矢火砕流堆積物については、昭和町幌似付近を越えて堀株川沿いの低地を流下し、現在の岩内湾に到達した後、赤くされた可能性を否定できません。
0:17:31	一方、敷地には、梨野舞納露頭と同様、MMR 段丘堆積物が認められ、
0:17:36	その上位の陸上堆積物には、
0:17:39	表面底面または当該層中に公債権到達をした浸食面は認められません。
0:17:46	敷地のMMR 暖気より高標高側には、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:50	新第3系中新統神恵内層を基盤とし、大岩瑞菜中或いはそれより古い甲斐製造が概ね認められ、その上限標高は40メートルを超えてございます。
0:18:01	この結果ですが、岩内瑛也西部の議案内容等の状況を踏まえますと、1につきましては、大矢火砕流下方向の延長位置末残M案段丘より、
0:18:12	高標高側、今、大矢火砕流は到達していないと判断され、
0:18:18	またもう一つの課題である、F-1断層開削調査箇所にも認められる火山灰等の開削解釈になりますが、
0:18:25	火山噴出物の分布状況に関する検討、これ、今申し上げた洞爺火砕流隠された可能性に関する検討の結果を踏まえますと、
0:18:34	F-1断層開削調査箇所、MMR段丘よりも、標高側であるとか、
0:18:39	現地火山灰等、記載されている堆積物は、
0:18:43	大矢火砕流堆積物に対するものではございません。
0:18:46	敷地に認められる高位段丘堆積物等の上位は、
0:18:51	S P Mエーワン大矢火山灰対象火山灰に対比されるから、混在する堆積物が認められることを踏まえると、
0:18:58	これらと同様の認定され、
0:19:02	ババ積丹半島西岸。
0:19:05	及び岩内エリア西部において、
0:19:08	中位段丘堆積物の上位ではあるのですか。
0:19:10	大矢火山灰、阿蘇4火山灰の純層、もしくはこれらの二次堆積物が認められることを踏まえると、F1開削箇所にも認められる火山灰等につきましても、それらに対比される可能性も考えて、
0:19:24	58ページお願いします。
0:19:27	58ページには、本検討の総合評価を示しております。
0:19:32	1及び敷地近傍における当社地質調査の結果、
0:19:35	この2付近、大屋火砕流堆積物、老古美周辺にて硬化剤流堆積物が認められるか。
0:19:41	これらの堆積物は、岩内岩瀬市敷地を超えた積丹半島西岸には認められないと評価されます。
0:19:49	そのうち大矢火砕流につきましては、堀株川沿いの低地を流下し、現在の岩内湾に到達した後、把握された可能性を否定できませんが、
0:19:59	1のうち、MMR暖気より公表を側には到達していないと判断されます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:05	ホームページ中段には、本検討結果に基づく敷地及び敷地近傍における花壇統一物模式図を示してございます。
0:20:14	62 ページをお願いします。
0:20:20	62 ページから、今説明した、検討の詳細を記載してございます。
0:20:25	この記載につきましては、前回ヒアリングの時から示しているものになりますが、今回説明させていただくのは、主に加筆修正した箇所になります。
0:20:34	64 ページをお願いします。
0:20:39	64 ページ中段あたりに積みつき括弧で、閾値とお伝えしてます。こちらについては敷地の検討結果、詳述しております。先ほど申しましたが、
0:20:50	敷地におきましては、主に火山砕屑物からなる堆積物もしくは讃岐氏、津久井アオキ君堆積物は認められないとしています。
0:20:59	一方で、注釈※10に記載しております。
0:21:02	3号炉調査時に実施したボーリングのうち、3Bの4、3 駅に三次への4 行の柱状図には、
0:21:10	丸井シートの記載がなされている堆積物がちょうど直下などに認められます。
0:21:15	令和3年10月審査会合以降のコア破砕観察の結果軽石に対応すると考えられる白色粒子は認められないことが、
0:21:24	移出を対象とした火山灰分析を実施し、当該箇所には、火山ガラスがほとんど含まれないことを確認してございます。
0:21:32	66 ページを見ます。
0:21:36	66 ページには、大矢火砕流堆積物が削剥された可能性に関する検討と、その検討結果等を踏まえたF-1断層開削箇所の
0:21:46	火山灰等の解釈に関する検討の詳細を示してございます。
0:21:51	安定になるのを避けるため、来年度には示しておりませんでしたか。
0:21:55	1におきましては、12号炉調査時のS1断層開削調査箇所のほかに、
0:22:00	3号炉調査費、
0:22:02	及び平成25年度造成工事時の露頭で火山灰質シルトを確認してございます。
0:22:09	これらの露頭につきましても、改善により消失しており、
0:22:13	これらの火山灰質シルトの解釈につきましては、補足説明資料の総称に携帯しております。
0:22:20	こちらは後程説明をさせていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:22	この旨を注釈の※12に記載してございます。
0:22:27	80 ページお願いします。
0:22:36	80 ページから 85 ページには、積丹半島西岸における堆積物の地層区分を表に提示してございます。
0:22:43	前回ヒアリングの際ですが、A は残念、10 月審査会合をキーデートとして、それ以降の取り組みを主に示す工程としておりましたが、
0:22:52	令和元年 10 月会合以前の取り組みや、
0:22:56	評価も含め、円筒の全体系を示すよう、この表を修正してございます。
0:23:01	具体的に申しますと、この表の右端観察分析検討につきまして、令和 3 年 10 月、審査会合以前にこう分けずに実施したものには、0、
0:23:12	対応してございます。
0:23:14	また、関連して実施したものにつきましては黄色ハッチング、
0:23:20	電話関連 10 月審査会合以降に実施したものには、緑ハッチングを示してございます。
0:23:26	なお、この表につきましては、改めて確認をした結果、沖が見つかりましたので、今回修正を行ってございます。申し訳ございません。
0:23:34	176 ページをお願いします。
0:23:49	176 ページには、新野参事の参照支筋カルデラの巨大噴火の可能性評価の中で実施したスポーツカルデラ周辺の地殻変動のうち、水準測量の検討結果を示しております。
0:24:02	水準路線について、左上の図に示しておりますが、前回ヒアリングの際、カルデラにより意見する露点は何か、その事実確認を受けましたことから、
0:24:12	取引する水準の程度について確認をいたしました。
0:24:16	その結果、左上の図、苫小牧と記載のある辺りから、
0:24:21	大津カルデラ付近及び 003 に向かう移動水準点を用いた理論のデータがあることを確認してございます。
0:24:29	よし。
0:24:31	作成可能なデータとしましては、疲れてる付近向かう路線は 2.1 年から 2018 年。
0:24:38	003 期に向かう露点は、1 年間、2007 年の 1 機関であり、いずれも一等水準路線のように、冬季間の変化がわかるものではないか。
0:24:48	大津カルデラ付近へ向かう路線は、2018 年北海道胆振東部地震の影響も考えられることが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:54	カルデラの巨大噴火の可能性評価に使用できるものではないと判断し、今回広川氏でございます。
0:25:01	160、161 ページお願いします。
0:25:11	160、161 ページには、皆様のご指導、洞爺カルデラの巨大噴火の可能性評価の中で実施した洞爺カルデラ周辺の地殻変動のうち、
0:25:21	水準測量の検討の結果を示してございます。
0:25:25	前回ヒアリング時から、①から③のグラフ、上下変動のグラフで示しておりますが、この固定点を登録、またはを 13 とした理由について、今回記載を追加してございます。
0:25:38	この色箱書きの上から 2 丸目になります。
0:25:42	坊やカルデラ周辺のデータは、登録、大阪市測量実施時期が異なるものが多いことが、
0:25:49	水準の前、①、②、③に分けて、出す、おい方 6、また、13 を定点とした変動量を示してございます。
0:26:00	学校力は臼田に比較的近接し、有珠山の活動に伴う地殻変動の影響を受ける可能性があることから、今回、
0:26:09	データ数が少なくなるものの、登録を超えて、測量実施時期が同一なデータにつきまして、普段から比較的離れた 7188 を検討した。
0:26:20	変動量を併せて示すことにいたしました。
0:26:23	それが 261 ページの④というところに示してございます。
0:26:29	なお、洞爺カルデラ付近での顕著な隆起、または人工は認められないという結論については変更はございません。
0:26:37	261 ページ、注釈期待してございます。
0:26:41	令和 3 年 10 月審査会合資料におきましては、沿道量の算出期間につきまして、水準路線①と③で不整合があったため、
0:26:51	算出期間を今回修正し、
0:26:54	2000 年のデータにつきましては、5 月と 8 月の 2 回測量が実施されていることから、それぞれに前年（エ）定年括弧日、保障し、分割してグラフ化することといたしました。
0:27:07	本編資料の説明は以上となります。
0:27:10	続きまして補足説明資料 2 ページお願いします。
0:27:23	補足説明資料 2 ページ、こちら目次を示してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:27	このうち、5章の敷地における地質調査結果の章になりますが、こちらに3号炉調査時及び平成25年度造成工事時に認められた火山灰質シルト、
0:27:40	こちらの他解釈について検討を追加してございます。
0:27:43	483ページをね、今、
0:27:53	483ページから5章市における地質調査結果、こちらに示してございます。484ページをお願いします。
0:28:03	本編資料の中でも説明させていただきましたが、委員に実施した敷地内断層の活動性評価に関する当社地質調査、A5断層調査と呼ばせていただきますが、この調査の結果、
0:28:15	1におきましては、SPFエーワン洞爺火山灰対象火山灰に対比される火山ガラスが存在する堆積物が認められるが、主に火山碎屑物からなる堆積物、
0:28:26	もしくは軽石、これを含む堆積物は認められません。
0:28:31	485ページ、位置図、示してございますけれども、この章5章には、敷地の南東側に存在する丘陵地におけるB地点及びC地点の地質調査結果の正体を1例として、
0:28:44	487ページから示しております。
0:28:47	12号炉調査時、3号炉調査時、平成25年度造成工事に確認した火山灰など、
0:28:55	坂内火山灰質シルトにつきましては、敷地及び敷地近傍の当社地質調査結果を踏まえた同区分検討を実施しており、この結果について522ページから示しており、
0:29:07	122ページをお願いします。
0:29:16	平成22、523ページには、12号炉調査、3号炉調査し、平成25年度造成工事時に確認した火山灰火山灰質シルトに関する検討のまとめを示しております。
0:29:29	524、525ページをお願いします。
0:29:34	524、525ページには、敷地の調査位置図を示しておりまして、524ページ、改変前の地形、525ページ、改善後の地形を示してございます。
0:29:46	本編資料におきまして説明しましたが、
0:29:49	12号炉調査時のF-1断層開削箇所、
0:29:53	括弧、スモールA地点として増田こちらには、福地金火山灰火山灰質シルトを確認しており、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:01	またそれに加えて、この位置図、右下、赤丸で示している。
0:30:06	H m3 段丘面、背後斜面に位置する 3 号炉調達、スモール B 数、モール D 地点、
0:30:13	平成 25 年度造成工事分森井地点において、道路直下に火山灰質シルトを確認しております。
0:30:20	527 ページをお願いします。
0:30:26	527 ページには、3 号炉調査費のスモール B ガルフモール D 地点露頭柱状値及び写真を示しております。
0:30:35	このスモール B からノール D 地点において、ロード直下及び主に規制にシルトする液まじりの大石仏上位。
0:30:44	媒質シルトを確認しております。
0:30:47	ただ、モール B 地点に認められる火山灰質シルトにつきましては、敷設率測定の結果、対象火山灰に対比される火山ガラスが認められます。
0:30:57	528 ページをお願いします。
0:31:02	128 ページには、平成 25 年度造成工事露頭であるスモール E 地点を東進示しております。
0:31:10	この時点におきましても、ちょうど直下及び実質に周東君、植木まじりの堆積物上位、
0:31:17	火山灰質シルトを確認しております。
0:31:20	この火山灰シートにつきましては、屈折率測定、成分分析の結果、対象火山灰に対比される火山ガラスが認められてございます。
0:31:30	戻っていただいて、522、523 ページの中です。
0:31:34	522 ページになりますが、
0:31:37	しかしながらこの今説明させていただいた地点につきましては、いずれも敷地造成に伴う改善により消失しているという状況であり、また、断層調査において、これらと同様な実物は確認されております。
0:31:51	このためこれらの堆積物については、敷地及び敷地近傍の当社地質調査結果を踏まえて、地層区分の検討を行います。
0:31:59	その検討結果を 123 ページ書いてます。
0:32:03	12 号炉調査時の F - 1 断層開削調査箇所为例示点につきましては、ホームページ資料 2 で説明した通り、
0:32:12	G F A は大屋火山灰対象火山灰に対比される火山ガラスが混在する堆積物であると推定され、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:19	洞爺火山灰、阿蘇4火山灰の純層、もしくは、これらの二次堆積物に対比される可能性も考えられると評価しております。
0:32:29	3号炉調査時の露頭、スモールBからD地点、
0:32:33	平成25年度造成工事のトップもう1点。
0:32:37	につきましては、
0:32:38	524ページの位置図に示します通り、Hm3段丘面の背後斜面に位置することから、統一地形上に位置する断層調査時のトレンチである。
0:32:48	小さなトレンチとの放送をしました。
0:32:52	114、515ページお願いします。
0:33:00	114、65ページには、市単トレンチの石綿写真及び壁面スケッチをそれぞれ示してございます。
0:33:08	三島市こちらにおきましては、
0:33:10	ハイカラHm2段丘堆積物相当層、
0:33:14	蛭田まじりサエキや積まじり砂で構成される斜面に堆積物、
0:33:19	いると資産の創造を呈するリーク製造及び強度が認められます。
0:33:25	毛利BからE地点に認められる火山灰スタッフ、火山灰質シルトの下位に認められる主に、
0:33:32	石積み首藤君、液まじりの堆積物は、この宗層から、このC3トレンチの斜面に堆積物に対比されます。
0:33:42	ただ、スモールBから森井地点、火山灰質シルトは、
0:33:46	B3トレンチに認められる道路直下に1度、堆積物を覆う育成等に対比されます。
0:33:54	なお、このC3トレンチの陸成層には、515ページのスケッチ左端、
0:34:00	E3のA測線で実施した火山灰分析の結果、青丸や緑丸で示しています通り、
0:34:07	PFAは、対象火山灰に対比される火山ガラスの問題が認められます。
0:34:13	498ページ、499ページに戻っていただきたいとなります。
0:34:20	498、499になります。
0:34:23	498ページの右上の図に示します通り、
0:34:27	AとC3とレンズの海側に位置します。
0:34:31	伊井地トレンチの壁面写真とスケッチをこのページに示してございます。
0:34:35	このC1トレンチにおきましても、道路直下に行く製造が認められ、
0:34:40	B3トレンチから連続する斜面に堆積物を覆って堆積しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:34:46	このシートエンチに認められる陸成層には火山灰分析の結果、499 ページ、H2、青丸、緑丸に加えまして、赤丸で示す、
0:34:57	大矢に対比される火山ガラスの問題も認められております。
0:35:02	523 ページ、まとめのページに戻っていただければと思います。
0:35:13	523 ページ、結果になりますが、AとC3 トレンチ、私1 トレンチとの対比の結果、スモールBから2 地点において、ちょうど直下に火山灰質シルトと記載されている堆積物は、
0:35:26	S P F バッファや火山灰対象火山灰に対比される火山ガラスが混在する堆積物であると推定されます。
0:35:34	なお、大矢火砕流堆積物が削剥された可能性に関する検討の結果、
0:35:40	1 のうち、Mの案段丘より、
0:35:42	高標高側には到達していないと判断されるとの評価を実施しておりますが、
0:35:48	これらの地点につきましては、MMR 段丘より高標高側でありますことから、火山灰になると期待されている堆積物は親方にあるものではございません。
0:35:59	本日の説明は以上となります。
0:36:11	規制庁タニで説明ありがとうございました。事実確認の方に入りたいと思いますけど、
0:36:19	説明のあった資料を追加したようなところ、
0:36:25	を中心にちょっとまずは確認していきたいと思うんですけども。
0:36:30	でも聞いてて、
0:36:33	よくわからなかった部分として、
0:36:37	この 56 ページ 57 ページでこれ新しくつけていただいて、
0:36:44	私前回のヒアリングで、
0:36:49	何でこっちは、
0:36:51	ボーリングを確認したりしてるのこっちはしてないのかとかそういう地区ごとの今までのデータっていうのが、
0:36:59	あんまり把握できていなかったのに対してですね、
0:37:04	これを見ていくと、たどっていけるようになったかなっていうふう思うんですけど、ちょっとただ、
0:37:10	確認したいのが、何か敷地、
0:37:14	これ、56 ページのところ
0:37:19	敷地近傍 12 は取り扱いが不明瞭な記載なしっていうことで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:25	敷地の方にはですね特にこの記載はなくて、
0:37:30	じゃあ敷地のところでどんど、
0:37:33	まずは敷地には、取り扱いが不明瞭な記載がどこにあったのかっていうのが、
0:37:40	何かよくわからなくてここは何か不安開削調査箇所のみ
0:37:46	そこに絞って説明されているようなんですけど。
0:37:50	アジアボーリングとかにはなかったのかなって思って聞い、聞いてみると、
0:37:56	いやそうじゃなくて、
0:37:59	軽石の記載があったりしたんだっていう話もその後出てくるんですよ。
0:38:05	これはまずは、
0:38:07	敷地でどこに何があったかっていうのから、
0:38:10	説明して欲しいんですけども、事実確認としては、敷地で、そういった火山灰質だとか、軽石だとかがあったのは、
0:38:21	まず、F1開削調査箇所。
0:38:25	その他には、
0:38:28	60、
0:38:32	4ページの
0:38:34	3Bの4、31-2、3J4の、この参考で軽石があった。
0:38:44	あとは、
0:38:45	良いですか。
0:38:47	66ページの*の12で書いてある。
0:38:55	3号炉調査時のBからDだとかそ、そういうところで、これが、
0:39:01	あれなんすけど敷地の中で、
0:39:04	不明取り扱いが不明だった火山灰軽石全部っていうことでいいんですか。
0:39:17	井戸電力の渡辺です。はい。56ページの概念図の方には、
0:39:23	この辺をすべて変えてしまう等、かなり煩雑になってしまっって頭で勝ちになるかなと思ひまして、F-1断層開削調査箇所っていうのを代表として書いて、
0:39:34	後の詳細記載の中で注釈で、
0:39:37	補足に送るとかそういう形にしてみたんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:41	どこにあるのかというのは今加治さんがおっしゃった通りの場所となります。
0:39:45	以上です。
0:39:47	はい谷です。
0:39:50	どこにあったかは今の確認の内容でいってことですね。私ここの頭でっかちにして下さいとかいう話をしてるんです取りまとめの仕方としてはあると思うんですけど、これまず最初に、
0:40:02	聞きたかったのが網羅的に、今までのデータを全部こう確認できたんですかどうなんですかっていうのが、
0:40:09	前回のヒアリングでもちらっと言ったんですけど、何かよくわからなかったところで、
0:40:17	例えば敷地近傍にだとかっていうのはもうもともと記載がないんだよっていうのが、わかって、ここ、網羅的に確認してんだなって思うんですけども、今のこの資料を見ていくと、
0:40:28	どこまで確認したのかなっていうのが、
0:40:31	わからなくて今のような確認してるんで、記載の方法わかります。任せますし、今回ヒアリングで確認できたんでどこを見たか、網羅的に全部、
0:40:41	見たんですよっていうのは確認できましたので、
0:40:45	あと記載の仕方として、
0:40:47	わかるようにしていただけたらなと思いますけどいいですかね。
0:41:03	北海道電力の渡辺です。すいません。今申し上げた、いただいたコメントを、
0:41:10	踏まえて、どこにあるかというのを明確に書かせていただこうと思ってるんですけど、ちょっとさっきすみません、言い忘れた内容のことが一つあって、
0:41:19	網羅的にチェックして、近傍1には次なるものはないです。3については気になる軽石火山灰の記載があるのでこれを集中的にやっつけましたという状況です。7、
0:41:31	これはどうなるかというところで、
0:41:34	一応F1対策、そして3号のときの三つの炉と、25度、
0:41:42	ボーリングっていうのがございます。
0:41:46	もう一つ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:49	あと 2 敷地の地質地質構造の中でパネルダイヤグラムを振って、敷地の地質分布を、
0:41:56	大局的に示すっていう取り組みをさせていただいたんですけどその中に柱状図幾つも提示させていただいてるんですけども、
0:42:04	この中に何ヶ所か、いわゆる破断媒質という記載のものは確認してございまして、
0:42:11	網羅的なパネルダイヤグラムの中で整理ができたので、ここには書いてないんですけども多分もうすべて潰してるってことをちゃんと書きなさいよっていう観点でいくと、
0:42:21	ここもパカーンなきゃいけないかなと思ひまして、その火山灰質と書かれているものは、どういうふう整理しているのっていうのを追記させていただきたいと思ひます。
0:42:32	以上です。
0:42:34	はい、谷です。わかりました等私の確認の。
0:42:39	下のちょっとあれでももう網羅的に確認してるんだけれどもすべてその確認した軽石火山灰というのはここに出てきていなくて、それはパネルダイヤグラムで出てきた。
0:42:51	柱状図の中に幾つかあると。
0:42:54	そ、それはこう整理したっていうのは、
0:42:58	説明はできるっていうことですよ。
0:43:01	はいちょっとその辺ね、
0:43:04	何か、
0:43:05	一部やっぱり一部を、
0:43:07	一部だけ確認してるのかどうなのかっていうのがよくわかんなかったらそこでちょっと、
0:43:12	議論が発散しそうな気もするので、そこをわかるようにしていただきたいなと思ひますんで、渡辺さん言い任せますよここに細かいところまで書くかどうかっていうのは、
0:43:24	ただ、やってることはわかるようにしてくださいと。
0:43:28	もう 1 個、
0:43:32	さっき言った、
0:43:35	こういうこと後、64 ページの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:38	下のアスタリスクで説明するっていうのがこれいかなものなのかなっていうのはちょっと思ってます。さらにこれってデータとしてはどこにあるんです。
0:43:50	家えっと、
0:43:53	確認しているっていうのを書いてるんですけど。
0:43:57	これデータもあるんですか資料上。
0:44:00	ただですね、もう前回ヒアリングの事実確認させていただいた中で、このポーリングに対して、
0:44:09	清分析をしていて、すぐしていますっていうお話をしまして、すべてがすべてのデータをここに載せ切れというような趣旨ではなくてその旨がわかるようにというところで、ちょっと軽重をつけてこのデータは、
0:44:23	入れてないっていう状態にしているんですけども、その補足のほうに、その結果、組成分析の結果を示すことも当然できますので、意識という観点であればそれも付けていただきたいと思いますが、
0:44:36	すみません私がそういうことを言ってるんっていうことですね。
0:44:41	うん。
0:44:44	うん。
0:44:45	あった方がいいですね。
0:44:47	どういうことをやったかっていうのはですね掛かけ書けばよかったのかなとは思ったんですけど具体的にそういった分析までやってデータがあるっていうことであれば、
0:45:00	それはあった方がいいかなと思います。
0:45:04	で、
0:45:06	ただですねちょっとこのアスタリスクじゃなくってこうこれここにあるよっていうのはちゃんと書いて欲しいんですよいやそもそもこれ、すごくこう文字数も相当あって、
0:45:17	そもそもこれを行為解読するのは結構、大変な作業なんですけどその中でさらにアスタリスクで細かくこう、
0:45:27	書かれると、
0:45:32	ちょっとそれを見落とす見落としてしまうというかですね、わかりにくいと。
0:45:37	いうこともありますし、
0:45:39	66ページのそういったことも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:41	これ、アスタリスクで比較し 12 番ですね、書く必要もないのかなと思ってますので、
0:45:48	その辺をお願いします。
0:45:56	はい、承知いたしました。
0:45:59	はい。あとはね 80 ページと 81 ページで、さっき動きがありましたよと動きがありましたよってということで、そもそもこれあれですよねこの 80 ページ 81 ページって、
0:46:12	前回この
0:46:13	黄色ハッチングの部分は入っていなかったものが、入ったんですよっていう話があってこの辺変わってるのはわかってるんですけど、
0:46:22	その他の部分の動きっていうのは、
0:46:25	具体的にどことどことどこかっていうのを、
0:46:29	ちょっと教えてもらっていいですか。
0:46:37	はい。北海道電力、松山です。相馬末松。
0:46:51	すいません、また 80 ページなんですけれども、
0:46:57	ビル岸市の
0:47:00	オーニング
0:47:01	深度 4.4 から 4.50 メートルシルトに関する、18 ページにつきまして、
0:47:11	後期で考えているんですけれども、
0:47:19	あ、ごめんなさいちょっと聞き取れなくて、
0:47:22	照岸 1-1 のボーリングのところですよ。はい。1 点、1-1 のボーリングの、
0:47:30	緑のハッチングがかかっている令和 3 年 10 月審査会合以降の評価の地層区分というところなんですけど、
0:47:37	そこに括弧書きで、火山ガラスが混在というふうに書いてあります。
0:47:43	これ以前、ここに書いてなかったものなんですけれども、この記載漏れてたので今回追加して、追記したというものになります。
0:47:53	すみません結構あるんですけれども、
0:47:56	続いている岸市野さんボーリングの、
0:48:01	深度 1.3 から 4.95。
0:48:05	のシルト質サエキに関する、同じく 10 月 14 日審査会合以降の評価につきまして、
0:48:12	ここには逆に括弧書きで洞爺に対比される火山ガラスが混在と記載していたんですけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:18	こちらが動きであるので、削除いたしましたものになります。
0:48:27	10 ページについては以上になりまして、
0:48:40	すみませんこの修正箇所って、追ってメールか何かで文字化して、
0:48:46	そういう形の方がよろしかったりします。
0:48:52	はいそうですねそれでも構いません。ただヒアリングの場です。誤記がありましたっていわれると、やっぱりどこがあったんですかっていうのは、聞いておきたかったっていうのがあって、
0:49:05	資料上わかればいいんです。で、今のままだったらその誤記っていうのが多数あって、それが評価に影響するのかなのかっていうのもわからないというのがある、
0:49:15	ちょっとじゃあ、1回ざっと聞いておこうかと、それは評価に影響するのかなのかも、あわせて聞いておこうかということで今確認しているんですね。
0:49:25	そうですね。あと、
0:49:28	これは、すみません丹またリスト的なものを、今日のヒアリング資料としてこうこうここここですよっていうのはじゃあ出してください。
0:49:39	で、今聞きたいのは、評価に影響するような動きがありましたかそれとも単純な
0:49:49	評価に影響するんですねさっきの火山ガラスがありなしっていうのは評価結果として、間違いがあったってことなんですかね。
0:49:59	どこまで変わるけど、どういったことが変わるけど、だけどそれは、最終的な評価に影響あるんかないのかその辺の考えだけちょっとじゃ、簡潔に説明していただけたら私はいいです。
0:50:15	ワタナベですすみませんおっきな観点でいくと、
0:50:20	今回取り組みとして組成分析を結構な数やったので、今まで数が混在してるみたいなことを書けるような状況なかったのがそれが追記された、それが書き忘れていたとか、
0:50:33	或いはなんですけども、分析の結果に基づく相当やのガラスが混在するっていう言い方にしてるんですけども、
0:50:41	新設ボーリングとの対比だとするものと考えられるっていう言い方になるんですね。それから、控除対比であるにもかかわらず、存在するって言い切る形に間違っちゃっていただけとか、
0:50:54	こういったところを適正化させていただいて、最終的におっきな

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:00	火山碎屑物の方火山でちょっとその分布の評価に大きく効いてくるかというそういう状況ではないということになります。以上です。
0:51:13	はいわかりましたと。ちょっとその辺はもう1枚、
0:51:19	どこが、
0:51:20	間違ってたかがわかるようにしてください。これってあれですか。ここがここが間違ってたっていうことを補足も全部。その該当する部分は間違ってたっていうことでもいいんですか。
0:51:32	おっしゃる通りですね。一色。
0:51:35	該当箇所を補足も含めて週、修正してございます。
0:51:41	大体5期の場所な、何ヶ所ぐらいあるんですか。この8081ページで、
0:51:49	違う80ごめんなさい80、
0:51:53	45ページまであるのか。
0:52:01	北海道電力ナカヤマです動きが大体10ヶ所ぐらいあります。ありがとうございます。わかりましたその辺、後で説明を、説明資料、
0:52:12	ください。それヒアリング資料としてホームページのアップするという事で、確認させていただきます。
0:52:29	あとはですね、私ちょっとさっき補足資料の522ページに、
0:52:36	ゾーンですけどう。
0:52:40	これって、私の記憶も曖昧な3号炉調査時の口とBからDだとか飯田とかっていうのは、
0:52:48	その火山ガラスの
0:52:51	数、
0:52:52	ですねそういったものって、
0:52:54	取られてたんでしたっけ。
0:53:00	サイトウ電力の渡辺です。3号炉25造成のときは、敷設主成分というのはやってるんですけども、数というものは、残念ながら確認していないという状況です。
0:53:12	以上ですか。数はない数はないけど、
0:53:18	何て言うんですかね、数がなくてこれひょっとしてすごく入っていたら、
0:53:22	この話成り立たないですよ。
0:53:26	その辺、
0:53:27	どう考えてるんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:53:34	北海道北海道電力の渡辺です。この数は把握できていないんですけど、一方でフィッシュントラック年代測定をやっていて、
0:53:45	ここに提示させていただいてるんですけども、
0:53:48	フィッシュン3号のほうの露頭でやってるんですけども、
0:53:52	かなりジルコンの年代にばらつきが出ていると、いうことと、2ヶ所டுத்த年代値自体もばらついていて、それをこう重み平均で、
0:54:03	年代に無理やり出してたっていう経緯があって、精度が十分じゃないのでもう年代評価には使えませんよっていう形で比較していると、ちょっと逆算的な話なんですけど。
0:54:14	ミッションでそういうばらついた年代値が出てるっていうことは、
0:54:18	剥ぐとしても、そんなに入ってたんじゃないかってことは推定できるんじゃないかなとは思ってございます。以上です。
0:54:27	は井谷です。
0:54:29	ちょっと私もジルコンがすごく少なかったっていうデータも見ているんですけど、何かその辺がですね、
0:54:37	かなり今の説明っていうのは、いやいやと隣の露頭でこんな状況だったからここだってこうなんじゃないのかっていう、何か、
0:54:48	説明聞いてみると、途中のなんでもう、当時のことはもうわからなかったようなデータをに対しての説明として、
0:55:01	それでいいのかなっていうのは、ちょっと資料もよく見ますけど、感じてるところもあって、
0:55:08	それで事実確認した次第なんですけどとにかく数はちょっとどれぐらいの、粒子だったのかとかその辺は残ってないってことではい。確認できました。
0:55:20	残ってないとかやってないっていうことで確認できました。
0:55:27	すいません、渡邊です。確かに過去の残ってないんですよ。
0:55:32	衛藤今野フィッシュントラックの話がね、ちょうど3号のボーリング長って、
0:55:39	ある意思があるっていう子が3校ありますよって話だったんでいただいたんですけど、その中の一つの3月中に5っていうのが、
0:55:47	3号炉の炉棟とほぼ同じような位置に位置してまして、HA3段丘面の背後斜面の
0:55:55	今のところ60メートルのところにあるんですけども、
0:55:59	ここにある、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:00	丘陵部の記載を見ると、火山灰質で丹生白色軽石をまじるっていう記載があって、多分道路直下がH m三面の背後斜面にいて3号炉の露頭と近接してるっていうところから考えると、
0:56:14	3号で見てた火山灰質シルトに対比されるような、同じもんなんじゃないかなと思ってございまして、そういう対比をした上で、3市二町で我々できてますので、ほとんど開発が入ってないっていう状況があるので、
0:56:28	補足的にそれを使うってことは、あれ、可能性、やり方としてあるんじゃないかなと思ってございまして。以上です。
0:56:37	はい。
0:56:38	北海道電力がどう考えてて、これはこういう判断なんだっていうのがちゃんとわかればいいと思いますのでそうそういうデータで補強されたいっていうんだったらちゃんと資料にしていだけたらと思いますけど。
0:56:51	はい。確認できましたよ。
0:56:56	でですねえ。
0:56:58	ここにも聞きたいことがあって何かの資料を見ていると例えば塔屋だとか、結果確認した結果ですね80。
0:57:08	80
0:57:09	ページ以降の確認した結果っていうのは洞爺がありましたよとかSPFエーワンが麻生阿蘇4がありましたとかそんな話は書いてあんです。
0:57:18	これ、
0:57:18	給源不明なものっていうのも、この中でいくつかあるんですこの混在している。
0:57:26	火山、
0:57:28	火山ガラスの中には、これ、
0:57:31	特に書いてないのは、
0:57:33	給源不明っていう判断になるんですか最終的に、
0:57:41	北海道電力の渡部です。火山ガラス、金財津っていうふうに、3000粒子中何十粒とか、ちゃんと出してるっていう中に、
0:57:51	数の中で、主成分引き等々やに対比できるものを、SPDSに対比できるものってのはあるんですけど、そういった、広域テフラにサエキされないような主成分の分布域を取る者の方でございまして、
0:58:04	こういったクリプトっていうのは何なのと言われると、やっぱりそれは給源不明ということになると思ってございまして。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:14	規制庁谷です。天田そうですね給源特定できないようなものはクリプトで工夫らしい。
0:58:22	逆に言うとクリプトT e p h r aというではっきりいえるのかどうなのか、かなり含有量が少ないような、火山ガラスにはそういう、
0:58:30	給源がわかんないものはあるけれども、含有量が多いものは、
0:58:36	いずれも特定できてるっていう話なんですかね。
0:58:42	ワタナベですはい、そのように考えてます。概要の少ないクリプトテフラレベルのものになるとう特性はちょっと難しいっていう有名なものがございますけども、洞爺SPFというと、2-Aですよ。
0:58:55	言ってるもの、こういったものみたいに、ほぼ本質物から成っていて休憩船っていうようなものはないという状況になります。
0:59:03	はい。わかりました。
0:59:06	ちょっと、それを念頭に確認しす。
0:59:09	あとねこの表でねわかんないん近接ボーリングとの対比っていうのでマルをしているのと、丸をしてないのがあるんだけど、
0:59:18	これって、
0:59:20	評価に用いたのが0になってるのかその対比自体は他の方でも、
0:59:26	してるんじゃないかなと今ちらっと見て思ったんですけど。
0:59:30	この近接ボーリングの対比で丸がついていないのと、その丸がバーになっているのバーのところは、断面図にも載ってないボーリングですかそれとも、
0:59:41	ここの、
0:59:44	差をちょっと教えてください。
0:59:49	北海道電力の渡部です。近接ボーリングとの対比で、丸がついていないものっていうものについては分析、観察分析検討の左側の方で、火山灰分析とか、
1:00:02	円観察とかそういうところに、必ずマルついてると思うんですけども、
1:00:06	後の層序対比。
1:00:09	頼らなくても、自前の当該ボーリングにおける観察なり分析を実施していてそれで評価ができているというものになります。
1:00:17	ちょっと主要ボーリングとかでお話させていただいたんですけど、メインになって網羅的に分析観察してるところは自前で潰せてるっていう内容になります。以上です。
1:00:28	廻谷ですわかりましただからちゅん断面図には載ってるけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:34	根拠には使っていないという、そういうことですカバーがついてる。
1:00:44	田辺です。このボーリングすべて断面図が載ってます。
1:00:47	載ってるんですけど、採取この新設ボーリングとの対比をしないでもバーがついてるものは、その以前の状態で、分析観察で評価ができたという、
1:00:57	建設ボーリングとの対比をドルプラスは主には断面、
1:01:02	訓練とボーリングの実行の方とかになってくるんですけども、そういった分析開発を、
1:01:07	丁寧に行っていないとおかしいです網羅的に全部やってない場所は、草創状態から潰していくというようなことを示してください。
1:01:14	そうです。
1:01:15	はい、わかりました。はい。何となくわかりました。ありがとうございます。
1:01:31	すいません。あとね、
1:01:33	ちょっと私これケチつけてるわけじゃない75ページで、
1:01:37	何かよくわかんなかったのが
1:01:41	純層刀禰二次堆積物に分けましたと。
1:01:47	二次堆積物をさらにAとBに分けて、
1:01:51	何かB。
1:01:53	BとAの分ける根拠というのが何かすごく曖昧に。
1:01:57	二次堆積物と比較してその本質物の占める割合が低いものが二次堆積物Bですとか何かすごく、
1:02:07	ぱっと見ると何か
1:02:12	何が違うんだらうなって思うようなことなんですけど。
1:02:16	これ、
1:02:20	あれなんですか。これはただ単に主に本質ぶつからなるもの。
1:02:26	が、何ですか。
1:02:32	Aよりも少ないのがBなんですけど、
1:02:35	これはAとBの境界と本質物が主に入っているのが
1:02:41	なぜか。
1:02:43	主に本質物からなるものが、ってことなんですか。
1:02:48	北海道電力の若菜です。当社としましては、火山灰の組成分析を1個中でやってるってところが、一つの長所とかメリットになるかなと思ってまして。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:00	このガラスの含有量というところに、
1:03:04	着目いたしました。
1:03:05	純層っていうのはこの概念で言うと、安全重視中かなりの角度ガラスが入っているという状態かつ、堆積構造輸出物等の問題がないと、というような状況を、
1:03:17	考えてまして、それに対して二次のAってというのは、
1:03:21	純層と同じぐらい火山ガラスが同等レベルで入っているものの、遺失物が混入している、堆積構造が見えると、水で動いたような、
1:03:31	跡が見えると、そういったものは、2-10相当同等レベルのガラスが入っているというものを、2のAとしましてBは包帯比較でしかないんですけどもそれよりはガラスの方は、
1:03:43	目減りしてくるといったところを見ているというものになります。以上です。
1:03:50	うん。
1:03:51	そういうことですね。わかりました。ただこれじゃあ、何か本質物を主体になってるのが純層と。
1:03:58	あって、それとは違うものも二次堆積物のBにしてるんだけどその温室物が主体がなってるものをちゃんと区分しましたっていうような、そういう説明ってことかと思いました。
1:04:10	で、何か、わかりにくいなっていうのはちょっと残りますけどはい。
1:04:15	状況わかりました。それで、このAとBと分けても、結局最終的な何か評価でAだからどうかBだからどうかそういうのは再最後まで特に、
1:04:27	関係ないですかね今んところは。
1:04:33	サイトウ電力のワタナベです。立地評価上は関係ないと思ってます。
1:04:38	1評価において、AとBと分けたことによって何が違うのっていうのは、ここでは効いてこないと思ってまして、影響評価の層圧、降下火砕物の高圧評価をする時の、
1:04:51	検討の土台に上がる、検討対象となるものはどれかっていうところで効いてくると思ってございまして、
1:04:58	従来普通に考えますと、
1:05:00	降下火砕物もそうですけど、検討対象になるのは純層だとは思いますが、
1:05:06	同等レベルの温室物が入っているのであればこの2次Aというのものも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:13	格上げして降下火砕物の層厚とかの検討対象にしてあげようっていうような思いがございます。以上です。
1:05:25	はいわかりました。だからちょっとその辺の話は今のところはここでは、
1:05:31	書くようなものではなくって、あくまで今、今、北海道電力としては、そういった、
1:05:37	火山灰の層厚を評価するときには、その考えで、今んところいるってことで、はい。
1:05:44	わかりました。
1:05:46	だから、しっかり言うと、これは分けておかないといけないってことです。
1:05:50	はい。確認できました。
1:06:08	今のページ、規制庁認識ですけれども同じく 75 ページのところ、
1:06:13	新型お答えいただいたのは、確か前回のヒアリングの時にも、
1:06:18	今後影響評価でそういう出したるっていうこ等で
1:06:22	いうことははず発言されてたと思うんですけれども、
1:06:28	何かちょっとこれ私前回確認したかどうかちょっと、
1:06:32	Aのところあるんですけども、これってそもそも何でいきなり二次、遺失物とかがあれば、二次堆積物と決めてか、こう評価しているっていうところってどういうお考えで、
1:06:47	したかっていうところ、もう 1 回ちょっと確認したいんですけれども。
1:06:57	サイトウ電力の渡邊です。1 点確認させていただきたい。今おっしゃってる趣旨っていうのは、
1:07:05	火災措置の維持っていう見た見立てもあるかもしれないけど、例えば浅井流であったって、逸すると巻き込んでくる可能性があるし、それはその
1:07:18	認識ですあそこがあるので、いきなり、それ、そんな時に火砕流堆積物っていうものは御社としては、軽石が入ってるか入ってないか。
1:07:28	というところが一つの
1:07:30	分岐になるというお考えで整理されてるという理解でよろしかったでしたかというところではい。
1:07:38	はい。当社といたしましては、軽石の有無っていうところが、フローとポールを分ける指標になるんじゃないかと思ってございましてこれ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:48	一般論的に、普遍的にそうだって言うつもりは決してないんですけども、
1:07:54	例えば、町田 1987 などであつたら、
1:07:59	下北半島には降下火砕物の中に軽石が含まれるっていう状況が書かれているというのは認識してございます。
1:08:06	一方で、渡島半島ですとか下北半島以外の地域っていうのは基本的には洞爺の高齢については、正ガラス質な細粒分で、
1:08:17	主になっているということが言われている。そういった前提を踏まえたときに、敷地の最も近いところに来てる火災本体の総数はどういうものかというのと、
1:08:27	軽石まじり火山灰或いは軽石火山灰ということで明らかに軽石が見て取れる所。
1:08:32	それよりも何か、市の敷地に近い敷地近傍の 2 という地点に行ったときに、リアル内の露頭において、何か公園を確認してるんですけども、
1:08:43	ここでは軽石が認められないというような状況になってございまして、文献でも、この辺りに火災が来ているという状況にはないと、こういったことを踏まえますと、当該場所にある敷地近傍のリヤムナイと、
1:08:56	いうものについては、ホールとしての搭屋であろうというふうに考えてございます。
1:09:01	さらに敷地を越えて北側に行っていくと、給源が齋藤区になってくる方向になってきますので、当該地域性を踏まえると、積丹半島西岸でボールが降ろうかという判断については、軽石の有無というところは、
1:09:15	系統として大きな判断要素になるんじゃないかと考えてございます。以上です。
1:10:41	規制庁ニシキすいませんちょっとお待たせしました。
1:10:44	ちょっと我々ちょっと何て言いますかね、火山学的になかなかそれって、
1:10:49	何て言いますかね、カール意思があるかないかっていうところだけで決めつけてない。確かに状況として、そういったものがあるんだろうなというのは町田先生の報告とかでもある。
1:11:01	とは思うんですけども、何かちょっとその辺で引っかかりがあるっていうか、要は、
1:11:08	ですね。
1:11:09	ここで言うと、何て言いますか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:13	たとえ、例えばもう仮に、例えばの話ですけれども、
1:11:17	火災によって本来流れてきましたところの御社の敷地周辺のようなところと、フォロー、
1:11:24	この2課あそこここで火災でが
1:11:27	比較的20メートルの層厚をもって堆積しておりますと、そこからさらにどこまで飛びましたかってところはなかなかわからないという状況の中で、
1:11:37	例えばですねそういったところからです当然大分、
1:11:42	例えばですよそ様にかけてのところだったとしても、火災運転からはどんどん
1:11:49	いわゆるそのフォールとなるような火山灰がどんどんもうちょっと上がってるわけですね火砕流本体から、そういったものがA、サージとして流れてくるってことは
1:11:59	あるとそういったものってのは当然細粒なものでしかできないんじゃないのかっていうのもあって、そういったものでできるサージっていうものはいわゆるその火砕流の区分にガイド上とか入ってくるので、その辺ってどう区別されているのかなっていうのがあってちょっとお聞きしているようなところなんですけれども、あまりその辺の、
1:12:17	細粒物でできるような薄いサージですねそういったものってのはあまり、
1:12:22	今回あまり念頭に置かず検討されてるといような理解でよろしいですか。
1:12:31	はい。サージ亜種クラウドサージという考え方っていうのも検討はしているんですけども、例えばやったか、とある2020で、
1:12:42	厚真の方に洞爺サージがあるよと、いような報告がされておりました、このサージと判断する根拠というのが、
1:12:51	基本的に、番場市、
1:12:53	遺失したって言って、ここに数ミリ棒青が認められているといような状況が、この放送をもって、
1:13:03	明日からサージだといような判断をしていて、これ当社の中川先生にもその判断根拠という確認はさせていただいてるんですけども、やはり足クラウドサージっていかさ医療本体から、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:13:16	滞留分が出てきたそのクラウドサージについても、あるイシヘンが認められている基質支持である1線が認められるという状況なので、主Cloudサージの類であるならば、
1:13:27	小さい粒径ながらも、丸井支店が入ってくるんじゃないかと考えているところと、エヌ・ピー・シー等で異種液が入っているというふうに6センチぐらいの大きな安山岩の位置で入ってくるんですけども、
1:13:38	これだけ大きなれき系のものを巻き込みながらとれるかというのと、シュラウドサージであった場合、その粒径を考えると、それを引っ張ってくると考えるよりは、
1:13:50	背後斜面からの人事体制見るとして流れてきたものとする方が妥当なんじゃないかというふうに考えてございます。以上です。
1:13:58	規制庁西井です。ありがとうございます。まさにそう言った内容がパッとそこで判断するところとわかるかわからないかっていうところでの資料からはすぐに言えばわからないんですよ。
1:14:10	なんでやっぱそこら辺は
1:14:13	我々まず本編の方ですねそこでこういうふうに見、ちょっと80ページにそこで分けますよというふうに書いていたりするされてるので、それってこれで金井葛西でも完全に、
1:14:26	降ってる者数から考えてるんじゃないですかみたいにどうしても75ページにそういうのが見えてしまうので、そういったものもちゃんとII Aなんだ、筒井
1:14:37	なんか否定した上で、ちゃんとこういう考えになってますってことがやっぱり変わらないんですよ、どうしても。
1:14:44	そういう私が今言ったようなことにどうしてもこれってでも、
1:14:47	葛西で言ってそういったいわゆる流れ堆積物のね堆積構造があって云々かんぬんってなってくるので、そこでここでやっぱ引っかかってしまう。ただ御社そういった検討もちゃんとした上で、目の、
1:14:57	その判断だっということは今、ご説明いただきまして、ちょっと確認してきましたので、そういったことをやはり、こういうところにちゃんと書いといて欲しいなというのがあります。
1:15:09	はい。はい。言った私は以上です。
1:15:25	規制庁谷です。
1:15:27	あとちょっとこの火山灰とかの件で、1点だけ何かこれはちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:32	考えを教えてくださいんですけど、これって、軽石ってもともとコア観察でシール白色を呈し、八方向4の発報昆様の表面形状が認められる粒子を、
1:15:45	軽石としてたんだと。
1:15:49	いう点なんですけど、小例を見直してみたら、がん編でした或いは社長席でしたっていうのが、僕の中でちょっと、
1:15:58	あんまり繋がってなくて、
1:16:00	これは見間違ふようなもんなんです発泡本が多いようながん編が、
1:16:08	いっぱいあったり、斜長石を見て、八方こん
1:16:12	がある白いものだっていう話と、何か繋がってないですか、これもうちちょっと何か教えてもらえたらと思います。
1:17:02	サイトウでテクノワタナベです。
1:17:04	再観察っていう今年の春ぐらいから、その中で行っているんですけども、
1:17:13	これは今回発見で見たときに、白色粒子っていうのが、
1:17:17	安山岩と斜長石と書いてはいるんですけど、多分、メイトとして見間違っていたのが正しいんですけど、ですけど、大きいのは、通過した安山岩、
1:17:29	これ健保白書腔になってるんですよ。
1:17:32	それをメインに見誤ってた可能性っていうのが一番高いんじゃないかなあと考えてます。
1:17:39	発見で対応する白色粒子っていうのを見ていくと、斜長石っていうのも、
1:17:44	あるんですけども多分一般論として社長的に違うのって言われると、
1:17:49	これはんていうところは記載ございます。ポイントとして大きいのは、風化した白色さしてしまった、分光用のくぼみがある、アンダー還暦っていうのを、
1:18:01	見誤ってしまっていたっていう。
1:18:04	やっぱり可能性が一番高いんじゃないかと実態としては思っています。以上です。
1:18:20	うーん。はい。
1:18:22	事実確認はできました。
1:18:25	主にここで言ってるのががん編の話をしている。
1:18:29	てことですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:37	これでも甘い。
1:18:38	はい、はい、わかりました。
1:18:52	後はですね私ちょっともうこの辺の火山灰の話はもっと飛ばして、
1:18:58	ちょっともう、
1:19:02	全体の、ちょっと細かな話も含めて確認に入っていきたいんですけども、
1:19:13	ちょっと、
1:19:14	場所が飛び飛びになると思いますがご容赦ください。143 ページなんですけれども、
1:19:22	これね、
1:19:25	地下構造の話をしてるときに、
1:19:29	まず②のうち地震波速度構造っていうのを説明して、②-2 は比抵抗、
1:19:35	構造っていうのを説明して重力っていう3柱があるんだけど、比抵抗のところに、
1:19:44	低比抵抗領域が認められるけれども、でも、地震波速度構造から当該期にあって、
1:19:51	地震波速度構造の話もこうなんか入れてるわけなんですよ。この辺もちょっと、この
1:19:57	他、単純にこの、この
1:20:00	観点からはこうであるこの観点からこうであるっていうのをちゃんと説明した上で、
1:20:09	その関係を説明すべきじゃないのかなっていうふうに思って例えば
1:20:14	逆に、地震波速度構造はこういう認められないんだけど否定歩で終わって例えばここに逆に入り方だってそれはするわけであって、
1:20:24	ちょっとこの辺の論理構成としてどうかなって思ってるんですけどこれ、
1:20:31	ここに書きたいん、気持ちはわかるんですけども、
1:20:36	ちょっと何か書いてることが、
1:20:40	まざってますよねっていうところで、
1:20:43	ここだけですかねその支筋だけこうなってるんですけどっけじゃ、ちょっとこう、どん
1:20:48	これ分けて書くべきじゃないのかっていう、単純に言うとその話なんでそういう話なんですけどどうですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:38	北海道電力の渡部です。ご趣旨理解いたしたいと、この 143 が、
1:21:45	総まとめ的地帯で、各単元の最終結論だけぽこっと入ってきちゃうんで、何でここで地震ハーモいきなり言ってるのっていうふうに、
1:21:54	見えてる作りになっちゃってるなどは確かにその 179 ページを、
1:22:00	見ていただきたいんですけども。
1:22:07	ここ 179 ページは、さっきの 143 は活動履歴も含めた総合等価なんですけど、179 は、地下構造とか緻密的なまとめっていうのがあって、
1:22:20	その中の指定校で、文献、山谷さんなんかの文献ビルと資格認定して交流金があるんだけど文献レベルとかマグマ湯水からそれだけでは判断できないとされているので、
1:22:32	地震はコードコードで比較をしました。検討するところですよっていうのは、内容がわかるようになってるのでこの辺をうまく結びつけられるように、
1:22:41	うん。いいたいことはわかってるつもりなんですけれども。はい、その話だったら、やっぱりこの指定校だけでは判断できないところまでが、
1:22:52	何ていうんですかね、知見の中かなと思ってます。そっからは、その知見を 9 組み合わせて北海道電力として、こう判断してるっていう話ですよ。
1:23:04	はい。
1:23:05	それがこの 143 とまとめで、ここが見えてこなくて確かに傾向だけ見たときに、何で自身はもう言ってるのって見えてしまうので、適正化させてください。
1:23:22	あとは、
1:23:24	これは、
1:23:29	166 ページとかこれなんかちょこちょこ他のところと共通する話なんですけれども、なんかね読んで、
1:23:39	何か一番上の四角囲みでちょっと詳しく書いて、矢印でここで最終的に言いたいこともあって書いてるわけなんですけれども、何か
1:23:54	矢印に行く前に、何かちょこちょこ気になる記載があって、例えば、まず 2 中、一番、166 ページ一番下のマグニチュード 1 以上の地震は、2014 年に増加傾向が認められるが、
1:24:09	現在は低調に経緯、経過している。
1:24:13	という情報。
1:24:16	等、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:17	こういった情報と、この下の矢印との関係が、いや、
1:24:22	よくわからなくて、
1:24:24	これ、もう全然こう、
1:24:27	大した情報じゃないってということなんですかねこの一番。
1:24:31	まず、上の四角にあるぞ、この期間に増加傾向が認められたとかいうのは、
1:24:38	全くその辺は、
1:24:42	実施、火山性地震のを総括する中では、
1:24:49	まとめる中では関係ない情報なんだってそういう話なんですかね。
1:25:40	すいません北海道電力の渡部です。166 ページの矢印の下、冒頭の新本さんの2の、
1:25:49	戸田井深の可能性評価方向で、
1:25:52	火山性地震は低周波地震を見てみようっていうことをうたっていてそれに対して低周波地震活動自体はそんなにないよってことが結論としてやってくるんですけど、
1:26:01	確かに上から矢印を落ちてきたときに、
1:26:05	行間が足りないといいますか。
1:26:08	それを補う文章がありていないという部分、だからどうしてこういえるんだっていう部分が読みづらいかと思いますので、
1:26:16	ちょっと修正をさせていただきます。お願いいたします。以上です。
1:26:28	はい、谷です。うん。私もこれ、ちょっと専門的な話にちょっと自分の中で取舍選択できてないのかもしれないんですけどわかるようにして欲しくて、例えば同じことが177 ページでもう、
1:26:42	薄ろう町の局所的な変動が認められるけど、
1:26:47	とか、そういう話が上でありながら下では、
1:26:50	あれ、何も触れないんですねっていうのがあって、
1:26:54	ちょっと、
1:26:56	これは、ここをまとめる情報として、
1:26:59	必要ない。
1:27:01	のかどうなのかっていうのが見てとれないので、お願いできたらと思います。
1:27:10	白尾、白尾井ですね。
1:27:25	あとですねえ。
1:27:29	どっか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:33	地殻変動のところなんか火山、
1:27:36	立地評価の一覧表どこでしたっけ。
1:27:44	立地評価の何か結果が、結果一覧表みたいなのがどっかで青い表があったと思うんですけども。
1:27:51	それちょっとページ出ますか。
1:27:58	近く辺地殻変動だとか
1:28:08	下の開口部道路とか書いてあるところ。
1:28:15	いや、いや1を捨てちゃう。
1:28:26	順次、はいわかりました。266ページなんですけど、
1:28:31	これって僕
1:28:33	ガイドとの関係でちょっと確認していったら、この地殻変動、
1:28:39	ていうのはですね、何か
1:28:42	敷地からの距離によらず、確認するような内容ですと、いうふうなことが書かれてて、
1:28:48	何かそのあとの評価はどこにありましたか地殻変動で、
1:28:59	何かその辺が、ガイドとの関係はどう、どうか、あそうかさっか、309ページですか。
1:29:08	だけど、この地殻変動に関する個別評価では、
1:29:12	これなんか20キロっていうのでこう、
1:29:16	判断してるんですよね。だから、ニセコ雷電の話をする、
1:29:23	ていうここの辺の関係はちょっと、
1:29:26	こここういう方向だからこれぐらいで別にいいんですよっていうのもあれば、
1:29:32	今、鬼頭委員、聞いておきたいんですけど。
1:29:52	大丈夫です。北海道電力の渡部です。どう、我々も対応を踏まえた考えとしてはガイド学科の5-1-12。
1:30:02	各変動っていうのが書かれていて、両括弧1地殻変動による影響っていう文言があるんですけども、
1:30:10	その中で最も大きな地殻変動は、新しい火口の開口に伴って引き起こされるという文書がされているので、
1:30:19	新しい火口の開口に伴って評価されるのが地殻変動、最も大きなものとしてやってあるので、新しい火口のサイトウの部分とこだけ合わせて、
1:30:30	評価すると考えてまして、新しい火口の開口ってのは、技術、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:39	えっと実績として 20 キロ、実績として 20 キロで影響を与えるとしたら、それぞれ 5 近くにある火山体。
1:30:48	になるんじゃないかニセコ雷電になるんじゃないかっていうような形で、
1:30:52	資料を整理したということです。以上です。
1:31:19	井谷ですお考えを確認できました事実確認できました。
1:31:38	荒谷です。あとね、溶岩流のところで、
1:31:43	に施工を、
1:31:47	こう評価しますっていうのがあれ何ページですかね。
1:31:55	268 ページなんですけれども、
1:32:02	ニセコ雷電っていうのは、
1:32:04	現在の活動中心であるよぬイワオヌプリの溶岩流を拭く。
1:32:12	む、イワオヌプリの溶岩流、
1:32:15	に関して、
1:32:17	確認しとけばいいんだよっていうこの辺の考え方を、
1:32:24	確認さしてください。
1:32:28	いや、要するにイワオヌプリ以外は、
1:32:32	ここで全く考えなくていいっていうことかと思うんですけども。
1:32:52	アイドリングのワタナベです。こちらは日生プライド火山群が 8 棟中心を変えながら行ってるって関係でちょっとこういう書き方してるんですけど、決してイワオヌプリだけ見ておけばいいという考えではなくてです。ね。
1:33:04	この 268 ページの驚見スタッフに施工の最初のポチなんですけど、ニセコ雷電全体の溶岩流を含む火山噴出物は、一番到達してない。全体警備員も届いてないですよっていうのを最初に言ってます。
1:33:18	その上で、あと中心はイワオヌプリです。
1:33:21	三つ目に、
1:33:23	この井川の日から最大到達距離は何キロ何キロっていう記載があるんですけど、これ
1:33:28	をさかのぼるんですけど、前、どこかのヒアリングのときに、
1:33:33	火山のその活動中心から、
1:33:38	火山噴出物の到達距離層内の中心から敷地までの距離っていうのを具体的に数字で、
1:33:45	出しなさいっていうような話がございましてそれに伴って、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:49	こういう書き方してくんですけども、イワオヌプリだけは、
1:33:53	箱がいくつかあるので、どういうふうにかこうかといったときに、今の活動中心からの距離という形でこの三つ目のポチは期待したという次第になります。ありがとうございました。
1:34:07	一つ目のポツが一番大事で、あ、わかりました。
1:34:11	私が勝手にこの日を塗りばっかりをこう見て追いかけていってしまったんだと思います。はい、わかりました。
1:35:41	規制庁ニシキですけども、前回のヒアリングの時にちょっと確認させていただいた水源測量の路線についてですけども、
1:35:51	何だっけ、サトウについてはあったということはプラスされてあと固定点についても、登録ですかその変位にするということで、
1:36:02	整理いただいたということで、大分、何て言いますか測線も、どうせも増えてですね
1:36:09	評価の納品するのかどうか非常にわかりやすくなったかなというふうには、
1:36:15	見る上でもわかりやすい資料になってきたかなとはちょっと思っております。
1:36:19	一方そのやっぱり、
1:36:21	なかなか支笏って、
1:36:23	ないんですねやっぱり未踏
1:36:25	でちょっと、うまく聞き逃しちゃってるとこあんすけど2頭水準点で、
1:36:31	観測する時間がやっぱりなかなか、差分が取れるようなものが、同じ測線で、例えば、例えば20年差とかそういったものでもないというそういう、そういう御説明。
1:36:43	だったという理解でいいんです要は、いちいち、
1:36:48	甲斐の測線しかないので差分が取れないっていうことをご説明されたという理解でよろしかったですか。
1:37:00	北海道電力、箕輪谷津、仕事の一つのデータなんですけれども、先ほど説明でも、
1:37:08	あったかと思うんですけども、
1:37:12	176 ページで左上に分布図を載せてございます。
1:37:18	この中で苦小牧と漢字で書かれているあたりから支笏カルデラと前さんの方に、
1:37:24	それぞれ1路線ずつデータがあったんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:37:28	四国カイダの方に向かうのが2001年から21年と2018年、それで2回やってましてその1期間分のエンドのデータはあったんです。
1:37:41	江田ナグラさんの勤務可能としては、2001年と2007年に、
1:37:47	終了してますので、その1スパン分1時間分の
1:37:51	データがあって変動とかけるといものになってございます。
1:37:55	ただこの
1:37:57	角田の方に向かうものは、2018年の井戸尾藤部の、
1:38:01	後に観測したものとなっておりますので地震の影響があったり、
1:38:06	それと、どちらも1、1時間しかないので、伊藤辻のように、長期間の
1:38:13	変動わかるものでいうようになってないと、というような状況となります。
1:38:17	以上です。
1:38:19	ありがとうございますね一行しかないやつは取れないからってというのは、わかりました。
1:38:25	中里返納今ご説明あったんですけど、具体的に文章ではなかったですよ
1:38:35	ね。なのでその近いところにはないっていう。
1:38:39	そういう情報は何か入れといていただいた方が、
1:38:44	要は審査会合の場でも近いところないんですかとかそういう話にもなるのでその辺の資格を調べていただいた内容については、
1:38:54	何か参考といいますか正しい書けています何かそういうところでちょっとフォローしていただいた方が、
1:38:59	良いのかなと思います。
1:39:01	今、
1:39:02	遠矢に比べてこっちが何かすごく薄く見えちゃうゆかなり薄く見えちゃってきちゃったので、その辺ちょっと
1:39:11	いやいやないですよというところとかをきちんと締め本編資料上でちゃんと書いておいていただいた方がいいかなと思いましたので、その辺りはちょっと検討の方よろしく願いいたします。以上です。
1:39:25	北海道電力の南です。今いただいたものを承知しました。先ほど説明したものを、趣旨で注釈のほうを記載させていただきます。以上です。
1:40:16	ちょっともうちょっと
1:40:18	審査官の方は、資料を
1:40:22	改めて見たりしてるんですけども、改めて見たいの聞くことなかったかを確認してる場所なんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:29	これって今日、今日説明していただいただけで40分ぐらいかかって、
1:40:35	りましたよね、今日の差分だけでね。
1:40:39	これ何か前は、会合は全部通しで説明したいみたいな。
1:40:46	話ではあったんですけども、これ一体これ全部を説明をちゃんとしようと思ったら、
1:40:52	どれぐらいかかるんですか。
1:41:02	北海道電力です。すみませんちょっと今、谷さんの言葉がですねどういう時になってちょっと聞こえなかった。すみません。もう一度。
1:41:10	ていただいて今日の説明で、40分かかりましたよね。
1:41:18	はい。
1:41:19	これ会合で、
1:41:22	全部通しで会合したいっていうようなことを前回言われてたと思うんですけども、
1:41:29	全部を説明しようと思ったら、一体どれぐらい時間かかるんですか。
1:41:47	はい、植田電力イズミです。これは、説明の仕方、どこまで取り上げて説明するかというところもあるんですけども、
1:41:57	工夫したとしても1時間ぐらいは要するかなというふうに思います。
1:42:02	大体小一時間の説明で、
1:42:06	この資料の内容説明できますか本当に
1:42:12	を、
1:42:13	結構だから前回の会合から相当なデータ加わってて、
1:42:19	何かその辺はちゃんと説明してもらわないといけないかなと思ってるんですけど。
1:42:25	可能ってことですか1時間できちんと伝わるような説明が、
1:42:30	今、
1:42:38	北海道電力の泉です。今田井さんおっしゃりたいのはおそらくこれボリュームが、以前から言われてますけどボリュームが多くて、なかなかその、
1:42:47	説明時間もかかるし、といったようなところで、例えば分割などして、説明した方がそういった工夫もあるんじゃないかといったような、
1:43:00	おそらくそういう考えに、
1:43:02	考えがあっていろいろ層厚に聞いているのは、繰り返してますけれども、
1:43:09	そういったことでよろしいですよそういう趣旨。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:13	だناと思って聞いてました。井谷です。
1:43:17	こうなさいと言うつもりはないんですけど本省会合として成り立つのかを心配しているところです。
1:43:26	一方、
1:43:32	北海道電力の泉です。そうしますと、例えば
1:43:37	今のB I T S評価そういう内容を少し分けて説明をするといったようなことも、
1:43:45	考えられるのかなというふうに思っています。
1:43:51	ちょっと具体的にはですね、ちょっとこれから困って議論とか確認になるのかもしれませんが、
1:43:58	この資料の、
1:44:04	朝日君進める。
1:44:06	M9Gが別に流して、
1:44:13	23ページ。
1:44:15	ごめんなさい。20、
1:44:17	23ページに違う層の数字があるんですけども、
1:44:22	例えば、この中の立地評価の中で、2-3章の1、2-3の、
1:44:31	一緒があります。これは
1:44:35	火山噴出物の分布範囲等を
1:44:39	運転或いは当社の調査データ等について整理をした上で、
1:44:45	過去に巨大噴火が発生した火山はこれだ、製作者脳死のある火山群だっというところを議論するところ。
1:44:52	までになっておりますけれども、ここ、
1:44:55	あたりが別の
1:45:00	ゾーンを、いろいろ議論する上で全部ベースになりますので一旦ここまでとすると。
1:45:05	言ったような考え方はあるのではないかなというふうに思っています。
1:45:10	ですので、我々としては、もし分けるとするならば、そこで分けた上で、
1:45:16	この資料の
1:45:20	この資料についてはですねこの内容でお渡しさせていただいた上で説明範囲を、この2-3の商売をすると、そういったことをしっかり明言した上で、説明をさせていただくのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:35	分けるとしたらよろしいのではないかなというふうに考えておりました。
1:45:40	とりあえず基本的な考え方としては、
1:45:42	そういったこともあるかなと思って、申し上げました。以上です。はい。ちょっと考えてもらって、私たちこれ全部来どうしても
1:45:54	北海道電力として聞いて欲しいとか、その希望があるのを、それを止めなさいっていうつまり今ところないので、ただ会合として
1:46:05	本当に1時間以内での説明とかで、ちゃんとこう議論できるような内容としてはどこまでを希望されるのかっていうのを、
1:46:15	一度整理して、連絡いただけたらと思います資料はね、ヒアリングで聞いている範囲としては全体を聞いてますっていうのもありますし、資料として、
1:46:26	出してもらうのがいいのかなというふうに思ってるんですけども、ちょっとその辺もう1回
1:46:33	先ほどの和泉さんのやり方のようなものかとかかいうのをちょっと考えてもらったらと思います。
1:46:45	はい、北海道電力、和泉です。改めてこういったやり方というところでお示しして、そこで
1:46:53	決めていくといったようなことを理解しましたけどそういう理解でよろしいんでしょうか。動く今私が申し上げたことを、ご提案することになるかなとは思ってますけれども。
1:47:05	そういう近くに失敗しました提案っていうか希望として出していただきたいんですよね。
1:47:12	はいそうです。はい。
1:47:28	規制庁谷です。
1:47:29	規制庁側からの確認以上にしたいと思いますこれ、資料を若干こう直しましょうかっていう話もあったと思うんですけども、
1:47:39	そんなにはかからないような修正ですかね。
1:47:44	うん。
1:47:45	どうですかこれね、今年中に出てきたりするんですかね。
1:47:50	もしめどが今わかれば、
1:48:12	北海道県立イズミです。
1:48:14	修正して締結するのを6仕上げ早々にし、
1:48:19	さしていただければなというふうな、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:23	イメージで考えております。
1:48:29	タニですはい、わかりました。
1:48:32	今んところそういうことで、
1:48:35	それでも早く出せるんだとかいうのがあるんだったらその時は連絡いただけたらと思いますのでよろしくお願いします。
1:48:46	はいわかりました。
1:49:01	規制庁谷です。
1:49:03	北海道電力からんなければ、ヒアリングは以上にしたいと思いますけどよろしいですか。
1:49:16	北海道電力泉です。特に東光から確認したいこと等々ございません。
1:49:24	はいそれではヒアリング以上にしたいと思います。
1:49:27	どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。